２０１５年度　早稲田大学派遣留学　春募集要項

早稲田大学 留学センター

■目　次■　　ページ

1.	対象プログラム概要	p. 2
2.	出願資格	p. 3
3.	説明会・選考日程	p. 8
4.	選考の流れ	p. 10
5.	出願方法	p. 10
6.	ポートランド州立大学（TSA）及び中期留学プログラムへの応募方法について	p. 14
7.	AIMS7　多言語・他文化共生プログラムについて	p. 15
8.	派遣留学奨学金	p. 16
9.	プログラム選択時の海外での安全情報の確認	p. 16
10.	お問合わせ先	p. 17
11.	出願登録 Waseda-net Portal 画面見本	p. 17
12.	出願時のチェックリスト	p. 18
13.	付録 ・大学派遣留学プログラム誓約書 ・2015 年度　早稲田大学派遣留学プログラム（非英語）語学能力証明書	

重　要　　～以下の注意事項を必ずお読みください～

- ❑ 今期の募集対象校の最新情報は、2015 年度春募集対象留学先大学・プログラムリスト http://www.cie-waseda.jp/programlist/index.html　にてご確認ください。
- ❑ 出願後の辞退は認められません。この冊子に書かれていることを熟読し、プログラムリストの内容をよく確認し、理解したうえで出願してください。特に必要経費については、為替レートの変動に伴い、実際に負担する金額が変わる場合がありますので、十分に余裕を持って準備してください。
- ❑ 留学期間は、プログラムによって異なります。交換留学は原則として１学年間（2 学期）ですが、1 セメスターのものもあります。中期プログラムは、1 セメスターのみです。
  １セメスタープログラムで留学をした場合、春学期もしくは秋学期の 1 セメスター間、海外の大学で学ぶことになります。１セメスターのみの短期集中型留学プログラムとなりますので、出発前の準備が非常に重要となります。
  ＊1 学年間の留学が必修となっている国際教養学部の学生は、１セメスタープログラムを修了しても留学の要件を満たしませんので、応募に際しては、学部事務所担当者に事前に相談してください。
- ❑ 韓国のプログラムの中には、2014 年 10 月にも募集を行うものもあります（出発は、2015 年の秋学期となります）。
- ❑ 各学部・研究科で独自に行われている箇所間協定プログラムについては直接所属箇所の事務所に確認してください。
- ❑ アメリカの Portland State University（TSA）には、テーマと出発時期が異なる３種類のプログラムがあります。

今回の募集	①　Life Of Health And Sustainability（LOHAS） ②　Waseda Business Program	2014 年度秋出発
2014 年度秋募集（10 月）	③　Transnational Program（TNP）	2015 年度春出発

1.対象プログラム概要

（１）交換留学（以下 EX、学部生、大学院生対象）

海外の協定校から留学生を受け入れ、同時に早大生を派遣する制度です。現地の学生とともに正規科目を履修することができます。一部のプログラムを除いて、早大の所属学部・研究科の学費等を納めることで、派遣先の学費が免除されます。ただし、協定校によってその項目の意味合いや呼び方は異なりますが、College Fee、 Technology Fee、 Mandatory Fee など、学費以外に現地で別途費用がかかる場合があります。派遣人数は各校あたり、1-3 名程度が通常です。多種多様な国の大学が協定校となっています。

（２）交換 TSA プログラム（以下 EX(TSA)、学部生対象）

上記の（１）の交換留学生として、主に非英語圏の協定大学に派遣され、下記の（４）TSA プログラムの学生と同じように語学能力向上のための講義を受講します。語学初心者から派遣ができるプログラムがほとんどです。学費は交換留学プログラムと同じく、早大の所属学部・研究科の学費を納めることで、派遣先の学費が免除されます。派遣期間は１セメスターのものと１学年間のものとがあります。

（３）中期プログラム（学部生対象）

2012 年度より開始された新しいプログラムです。留学期間は本学の半期に相当し、その間の学籍は「在学」となります。プログラムの内容は語学力の強化が中心です。A.語学の学習科目のみ履修するプログラム、B.語学力が一定の基準を満たした場合には、現地学生と通常科目を履修するプログラムがあります。また、春募集では C.語学要件を満たすことができれば最初から通常科目を選択することができるプログラムの 3 種類があります。出発は、他のプログラムと異なり、募集の半年後です。学生は派遣先大学の学費等、およびプログラム開発・運営費（１セメスター５万円）を含む「プログラムフィー」を早大に支払うことによって、留学期間中の早大の学費等が免除されます。

（４）TSA（Thematic Studies Abroad）プログラム（学部生対象）

「テーマに基づいた学習」を中心に履修カリキュラムが組み立てられます。現地大学での授業を補助する語学力向上のためのサポートが多く存在するのが特徴です。学生は派遣先大学の学費等およびプログラム開発・運営費（１学年期間１０万円）を含む「プログラムフィー」を早大に支払うことによって、早大の学費等が免除されます（注[1]）。派遣人数はプログラムによって様々ですが、概して多めとなっています(プログラムによっては 2～3 名くらいの場合もあり)。北米、イギリス、アイルランド、オセアニア、ヨーロッパ、中国、台湾などのプログラムがあります。

（５）ISA(Individualized Studies Abroad)プログラム（学部生対象）

交換留学と同様、現地大学の通常カリキュラムの中で、現地のコーディネーターと相談しながら、ある程度自由に科目を履修できるプログラムです。語学力が低い場合、語学の勉強を義務づけられる場合もあります。学生は派遣先大学の学費等およびプログラム開発・運営費（１学年期間１０万円)を含む「プログラムフィー」を早大に支払うことによって、早大の学費等が免除されます(注[1])。派遣人数はプログラムによって様々です。北米、イギリス、アイルランドのプログラムがあります。

＊秋募集のみのプログラム

（６）ダブルディグリー・プログラム（学部生対象）

（７）グローバル・リーダーシップ・フェローズ・プログラム(GLFP)（学部生対象）

---

1 【注】ここでいう「学費等」とは、授業料、施設費（教育環境整備費）、実験実習料、演習料、実験演習料、学生読書室図書費を指しますが、実際に免除となる項目については、所属学部・研究科によって異なります。また、学生健康増進互助会費は免除の対象とはなりませんが、留学中に学生健康増進互助会の利用がなかった場合には、帰国後に所定の手続きにて返還請求をすることで返金されます。詳しくは帰国後、学生生活課(学生会館 1F、E-mail:gakuseki-kenko@list.waseda.jp)にお問い合わせください。

※延長生で交換留学にて留学をする学生については、延長生学費ではなく、各学期とも所定額を徴収されます。大学院の延長生の場合、研究指導のみとなっている者で派遣先でも研究指導のみを受けることを出願時に申し出た場合、２００５年度以前の入学者については、春学期は所定額、秋学期は研究指導料のみの徴収となり、２００６年度以降の入学者については、各学期とも所定額の５０％の徴収となります。

2. 出願資格：下記の（1）～（4）を満たさない場合は自動的に出願が無効となります。

(1) 出願資格

プログラム出願時および留学期間中を通して、本学の学生（正規課程）として在籍する、学業成績、人物ともに優秀な者。プログラムにより、大学院生、学部生、学年、国籍が限定されているものがあります。

※出願先によっては、早稲田大学で４セメスター履修していること等、別途規定が設けられている場合もあるので、プログラムリストをよく確認のうえ、出願してください。また、出願するにあたり事前に所属学部・研究科に応募の可否について確認してください。

※出願先によっては、二重国籍を保有する学生を受け入れない大学もあります。該当する可能性のある方は、必ずご両親に二重国籍の有無を確認してください。そのうえでプログラムリストでの国籍条件をよく確認のうえ、出願してください。

※二重国籍を保有しているのにも関わらず、留学センターに届け出ずに受入れ不可のプログラムに出願し、留学センターの派遣候補者として選出された場合でも、ビザ申請時に二重国籍のことが必ず判明します。その場合、ビザが発給されず、留学できないばかりではなく、それ以降の留学センタープログラムへの出願資格も失われますのでご注意ください。

※国際教養学部の学生は出発時に３セメスター以上、早稲田大学で履修していることが必要です。ただし、春入学の学生で 1 セメスターの時に交換留学プログラムに出願する場合と、入学時期に関わらずアメリカの Portland State University (TSA)に出願する場合については、２セメスター以上履修していれば出発可能です。

※国際教養学部の学生が留学を終了した直後の学期末にそのまま卒業することは出来ません。

※出願時に 4 年生で大学院に進学を予定している出願者については、出願資格について事前に学部・研究科に確認してください。

(2) 語学能力（各プログラムで必要とされる語学能力があること）

A. 英語プログラム

要求スコア（要求されているプログラムは section score も含む）を超えた TOEFL のオリジナルスコアカード（Examinee Score Report、２０１２年５月以降に受験したもの）を提出できることが出願条件です。プログラムリストに明記されていますが、いくつかのプログラムには、TOEFL-ITP のスコアカードでも出願可能です。ただし、TOEFL の有効期限は２年間なので、学内選考後派遣候補大学への出願の際、およびビザ申請などに必要となる書類が派遣協定校から発行される前に有効期限が切れる場合は、再受験が必要な場合もありますので注意してください。その際、再受験結果が学内選考出願時の点数を下回ってしまった場合は、派遣候補大学からの受入許可が出ない場合もあります。その場合、別の大学への出願は間に合わないので、注意してください。

※TOEFL の Examinee Score Report は、オンラインでのテスト申込時に My Home Page のスコア通知設定（Score Reporting Preference）ページで「オンライン上でのスコア確認及び郵送での通知」を選択しないと発行・送付されません。

B. 非英語プログラム

各種語学能力証明書（原本）の提出が求められているプログラムに応募する場合は、要求レベルを超えたスコアカードの原本を提出できることが出願条件になります。また、一部の非英語プログラムでは語学初級者でも応募可能な語学プログラム(Language Program) があります。

(3) 必要とされる GPA

プログラムによっては GPA が要求されます。Waseda-net ポータルより「成績照会」内の各科目の成績を各自確認して計算してください。

学内派遣選考で使用する GPA の計算式は以下の通りです。この計算式は留学センターが派遣留学学内選考用に独自に定めたものです。学部・研究科での算出方法と異なりますので、２０１０年度以降に入学した方の単位修得状況の照会画面に表示される GPA の数値とは異なります。

$$\frac{\{(4.0\times A^{+}\text{取得単位数})+(3.5\times A\text{取得単位数})+(3.0\times B\text{取得単位数})+(2.0\times C\text{取得単位数})+(0\times F、G、H\text{等単位数})\}}{\text{総履修単位数（卒業算入科目として登録した単位数の合計）}}$$

※総履修単位数とは取得単位数と F、G 等となった科目の単位数を合算したものをいう。

成績評価と成績表記の関係は以下の表を参照してください。アジア太平洋研究科の学生も、「学内選考で使用する成績表記」を使用して GPA を計算してください。

評価（素点）	アジア太平洋研究科	学内選考で使用する成績表記
１００～９４	A^+	A^+　（４．０）
９３～９０		
８９～８７	A	A　（３．５）
８６～８３		
８２～８０		
７９～７５	79～75　B^+	B　（３．０）
７４～７０	74～70　B	
６９～６０	C	C　（２．０）
５９～５０	F	F※
４９～０		G※

※F と G の範囲は各学部、研究科で異なります。H は不受験。P と N は GPA 計算には含めません。

※上の表にある成績評価は留学センターが独自に定め、使用するものです。各所属学部・研究科で使用するものと異なりますので注意してください。

※学部の１年生で、入学した直後の学期（1 学期目または１セメスター時）に出願する場合は、高校の英文成績証明書を提出する必要がありますので、早めに準備してください。

※学内選考時、GPA が現地大学要求のものに足りないプログラムについては選考対象外となりますので、GPA をよく計算のうえ、出願するよう、ご注意ください。

※学部１年生で、まだ早稲田大学での成績が出ていなく、GPA が算出できない場合は、GPA 要件のあるプログラムへは出願できません。

（４）留学中の必要経費の負担

留学中にかかる費用について、保証人とよく相談し、経済的な裏づけを得てから応募してください。派遣先大学への出願手続や、VISA 取得の手続においては、留学期間中の費用が準備されていることを証明するために、金融機関の残高証明書の提出が出発前に必要となる場合もあります。学内での派遣候補者の Waseda-net 個別通知発表後、派遣先大学へ実際に願書を送付する手続きの中で求められる場合があります。提出時期の締切が早いところでは、2014 年 6 月に設定されているプログラムもあります。留学の奨学金への申込みは、派遣先大学が決定後に手続きの案内を行います。

(5) 留学プログラム応募の際の注意

① 選考種別区分と選考優先順

大きく分けると英語プログラムと非英語プログラムの２種類があります。

A. 英語プログラム

WEB 出願と出願必要書類の提出、所属学部・研究科による適性判断（方法は各学部・研究科事務所で異なる）をもとに選考を行います。

B. 非英語プログラム

WEB 出願と出願必要書類の提出、所属学部・研究科による適性判断（方法は各学部・研究科事務所で異なる）とともに面接試験を行います。ただし、非英語プログラムの EX(TSA)、および TSA については、語学初級者から参加可能なプログラムなので、非英語プログラムの EX(TSA)、TSA のみに出願する場合には、面接を行いません。

英語プログラムと非英語プログラムは、非英語プログラムを上位志望とし、英語プログラムをそれより下位志望とする場合のみ併願可能です。英語プログラムを第１志望とし、非英語プログラムを第２志望以下とすることはできません。また、１つの派遣先大学に英語プログラムと非英語プログラムが並存する場合には、非英語プログラムの選考が優先されます。非英語プログラムの

選考で派遣枠が埋まってしまった場合には、英語プログラムの選考は行われません。以上の条件から最大で７つのプログラムコードまで選択することができます。
また、候補者として選ばれた後は原則として辞退が認められません。出願する際には、このことを十分に念頭に置き手続きを行ってください。

② 選考方法
学業成績（GPA）、語学能力（TOEFL 等の公的試験など）、学習・研究計画書、所属学部・研究科での適性判断（方法は各所属箇所により異なる）、面接（非英語プログラムのみ実施、EX(TSA)、TSA を除く）を選考要素として総合的に判断し、より総合力が高いと判断された学生から志望順位の高いプログラムの派遣候補者に選出します。

④ 各大学、各プログラムの詳細な調査
１つの大学で複数のプログラムが並存していることがあります。例えば、University of Queensland には、EX と TSA があります。そのため、応募するプログラム自体の早大生受け入れ人数は少なくとも、別プログラムでの参加学生も含めた場合に、キャンパス全体での早大生の数が多くなる場合があります。また、高麗大学校の交換プログラムには、韓国語で行われるプログラムと英語で行われるプログラムがあります。また、一つの大学に複数のプログラムがある場合、それぞれプログラムコードが異なります。プログラムの選択をする際には、大学名のみではなく、プログラム内容を含め、コード番号の選択に間違いのないように注意してください。

⑤ 派遣先から求められる語学能力・語学プログラム
学内選考の際に TOEFL の条件を満たしていても、派遣先の大学で語学コースへの参加を求められることがあります。また、非英語圏に留学する場合にも、語学力が十分でないと、派遣先の大学の判断により、派遣先の大学で語学コースへの参加を求められることがあります。その際、語学コースに参加するための費用が、TSA、ISA、中期プログラムに参加する場合に支払うプログラムフィーに含まれていないこともありますので注意してください。交換留学の場合でも、語学コースや特別なコースに参加する場合、早大の学費等の支払いに加えて、現地で別途追加費用の支払いが必要な場合もあります。

⑥ 派遣留学期間
今回募集するプログラムで留学する場合、留学期間終了の次の学期から早稲田大学に復学することが原則です（留学プログラムの延長は、原則認められていません）。また、特別な事情を除いて、プログラムにはその期間終了まで参加することが求められます。留学期間中は、早稲田大学での科目履修はできません。ただし、留学終了年の夏季海外研修科目は秋学期の科目であるため履修可能です。希望者はメールにて留学センターに問い合わせてください。
また、本人の事情で途中帰国した場合には、プログラムフィー、プログラム開発・運営費、早大学費等は返金されません。

⑥ TSA・ISA・中期プログラムのプログラムフィーに関して
プログラムフィーには、現地での学費、プログラム開発・運営費（１学年期間１０万円、１セメスター期間５万円）などが含まれています（プログラムリストの ″Estimated Tuition″ に示されている金額）。宿舎費や食費（プログラムリストの″Estimated Room & Board″に示されている金額）、また、設備費やオリエンテーション費等は渡航後にご自身で派遣先大学に支払うことがほとんどですが、いくつかのプログラムでは、プログラムフィーに加えて早稲田大学に納めていただく場合があります。
また、プログラムリストにある現地通貨建ての金額は、昨年度実績をベースにした目安ですので注意してください。派遣先大学の学費、為替レートの変動、外国政府の財政状況や政策変更などに伴い、次年度には金額が上昇する場合があります。実際の納入は、学内規定レートにて日本円に換算した金額を留学センターの指定口座に送金いただきます。
プログラムフィーは、指定期日までに留学センターの指定口座にお振り込みいただきます。
※同じ国への留学であっても派遣先大学において請求金額が確定する時期によって換算レートが変動します。
※″Estimated Room & Board″の金額には昨年度実績ベースではないものも含まれています。

⑦ 交換留学プログラムで留学する場合の費用について

交換留学プログラムに参加する場合、一部のプログラムを除き、早稲田大学での所属箇所の学費等を支払えば、派遣先大学での学費が免除されます。ただし、協定校によってその項目は異なりますが、College Fee、Technology Fee、Mandatory Fee 等、学費以外に現地で別途費用がかかる場合があります。その金額は派遣先大学によって異なりますが、場合によって年間 1,000US ドルを超える負担が必要となることがあります（特に北米の交換協定校、オレゴン州立大学連盟、カリフォルニア州立大学連盟、ニューヨーク州立大学等）。詳細については、Waseda Global Gate(早稲田キャンパス 22 号館１階）でご確認ください。

※延長生で交換留学にて留学をする学生については、延長生学費ではなく、各学期とも所定額を徴収されます。大学院の延長生の場合、研究指導のみとなっている者で派遣先でも研究指導のみを受けることを出願時に申し出た場合、２００５年度以前の入学者については、春学期は所定額、秋学期は研究指導料のみの徴収となり、２００６年度以降の入学者については、各学期とも所定額の５０％の徴収となります。

⑧　査証取得

査証（ビザ）は渡航先国の目的において定められた入国や滞在に必要な書類の一部であり、各国の移民法に準じて定められています。

査証の取得に関する諸条件をはじめ、その手続き（申請）方法、必要書類（申請書等）や申請費用などにおいても全て渡航先国によって異なり、またその条件等は予告なく頻繁に変更されます。なお、留学先ごとの査証取得の際、残高証明、翻訳証明、銀行口座通帳等の提出を必要とする国もあり、諸手続の際はそれらの書類を速やかに準備しなくてはなりません。留学を希望する国の大使館や関連ホームページで必ず最新の情報(必要書類・手続料・申請期間等)を得るようにしてください。また、査証取得の手続きの責任は、全て申請者の責任として委ねられていることをご理解ください。

⑨　派遣先大学での科目登録・早大での単位認定

全てのプログラムにおいて、前提とされる科目（Pre-requisite）を履修していなかったり、履修人数の制限により、派遣先大学での希望の学部での履修が認められなかったり、受講を希望する科目に登録できないことがあります。

プログラムは、皆さんが学ぶに値すると留学センターが判断した内容になっていますが、現地大学で取得した単位が早稲田大学の所属学部・研究科の単位として、自動的に認定されるわけではありません。派遣先大学での取得単位がどれだけ早大での単位として認定されるかについては、各所属学部・研究科の判断に委ねられています。修業年限（学部は４年）での卒業が保証されてはいませんので、事前に所属学部・研究科にもよく相談して、誤解のないようにしてください。

⑩　派遣候補者となった後の辞退

決定後に正当な理由なく、辞退することはできません。正当な理由なく辞退した場合、それ以後の留学センター派遣留学プログラムへの応募資格が失われます。

万が一プログラムへの参加が非常に難しい状況となった場合は、可能な限り早い段階で、まず留学センターに相談してください。

⑪　早稲田大学内選考と派遣先大学からの受入許可

この募集要項は、早稲田大学内での選考についてのものです。この学内選考を経て派遣候補者に選ばれた皆さんは、早稲田大学から推薦された学生として、派遣先大学に応募する資格を得たことになります。

しかしながら、それは派遣先大学からの受入許可を１００％保証するものではありません。実際に留学できるかどうかは、派遣先大学の選考によって最終決定がなされますので注意してください。

また、派遣候補者に選ばれた後においても、選択科目、学業不振、書類提出の締め切りを守らない場合、必要な手続きを行わない場合や、オリエンテーションへの出席が著しく悪い場合など、留学をするにふさわしくないと留学センターが判断した場合は、渡航後であっても、留学中止の勧告を行うことがあります。留学センターからの案内には十分に注意してください。

⑫　早稲田大学義務付け海外旅行保険への加入

留学センターの長期派遣留学プログラム（１セメスター・中期含む）に参加する学生は、いかなる理由にかかわらず本学の指定する海外旅行保険（東京海上日動火災の海外旅行保険）への加入

が義務付けられており、加入しない状態での留学は認められていません。本学指定の海外旅行保険は、一般的な保険料に比べ割引率が高いものとなっています（１２ヶ月で１０万円～１３万円前後/２０１４年度参考）。しかし、派遣先大学においても健康保険や医療保険への加入を求められる場合には、早稲田大学義務付け保険加入と合わせて、必ず現地保険への加入が必要です。派遣国、派遣先大学や期間によっても異なりますが、留学期間中の保険料として小額な場合で３万円から、高額な場合だと１８万円程度必要な場合があります。

*精神的疾患、歯の治療費、また持病と見なされる場合(既往症)には早稲田大学が加入を義務付けている保険の補償対象外となります(その他の補償対象の有無は保険補償規定に準じます。)。

*本学義務付け保険の保険料は、前年度においての事故損害件数や補償額により変動します。保険料のお支払いについては、派遣手続き開始後にすみやかに指定の保険代理店口座へお支払いをいただく必要がありますので、あらかじめご了承ください。

⑬　海外携帯電話レンタルサービスへの加入

留学期間中の様々なリスクに対応するために、派遣学生全員へ留学センターが包括契約をする海外携帯電話レンタルサービスに必ず加入いただきます。登録費用や毎月の基本料は全て無料となります。お支払いいただくのは、使用した通話料※、および通信料（ショートメール料金含む）のみとなります。加入手続きの際は、清算に必要なクレジットカードの登録が必要です。

※着信料は国により異なります。

⑭　併願に関して

所属学部・研究科の箇所間協定によるプログラムとの併願は認められません。ただし、留学センターの結果発表前である６月３０日（月）までにその結果が判明する場合は、この限りではありません。また、留学センターのプログラムと箇所間協定によるプログラムを併願する場合は、留学センターのプログラムの結果が優先されますので、所属学部・研究科とも相談のうえ、出願してください。

⑮　オーストラリアのプログラムに関して

日本国籍以外のオーストラリアの留学ビザ申請※ には、IELTS や TOEIC など TOEFL 以外の試験でも各協定校が要求するスコアをあらかじめ取得していることが条件となる場合があります。したがって、協定校の要求 TOEFL スコアをクリアして早稲田学内の選考を通過し本学の派遣候補者となった場合でも、その後必ず TOEFL 以外の指定試験を受験して所定の要求スコアを取得することが必要です。指定試験の所定スコアをクリアしないとビザの申請をすることができず、結果的に渡航不可となりますので十分ご注意ください。なお、ビザ申請についての情報は予告なく頻繁に変更されますので、オーストラリアの協定校へ出願される場合には最新情報をご自身でもしっかりと確認し取得するように努めてください。

※オーストラリアのビザ申請詳細ウェブサイトをご参照ください。http://www.immi.gov.au/

⑯　春学期のみの半期留学をする場合

通年科目が設置されている学部に属する学生が春学期に留学をする場合、科目登録ができず、帰国後の秋学期の授業を受けられない可能性があります。その他、専門演習（ゼミ）の登録や履修ができない等、支障が出る可能性がありますので、所属学部・研究科に問い合わせ、よく確認のうえ出願してください。

3. 説明会・選考日程

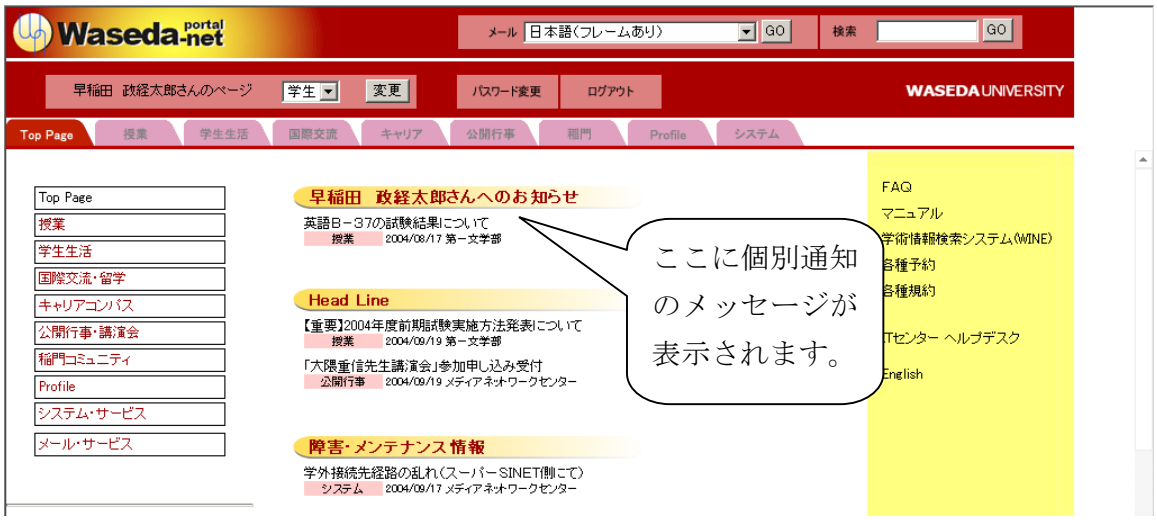
日程	時間	内容・会場
５月９日（金） １０日（土）		春の留学フェア 国際会議場１階井深大記念ホール、3階会議室
５月１２日（月） １３：００ ～ ６月３日（火） ００:００締切 ※６月２日（月）までに登録された申請のみ受付けます。	終了時間に注意 （締切後の登録は、いかなる理由があろうと受付けません。）	WEB出願登録(Waseda-net ポータルにて) *注）* *・最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受付けができず、出願ができないことがあります。早めに希望校を検討して登録するようにしてください。* *・WEB上でTOEFLスコアを入力するため、TOEFL Examinee Score Report（原本）は、必ずこの期間までに取得しておいてください。iBT受験者はオンライン上で確認できるスコアをプリントアウトして提出していただいてもかまいません。ただし、後日スコアカードの原本を提出していただく必要があります。* *・WEB上で登録されたTOEFLスコアと後日提出されるTOEFL Examinee Score Report（原本）に記載されたスコアが異なっていた場合、出願は無効となりますのでご注意ください。* *・TOEFLのExaminee Score Reportは、オンラインでのテスト申込時にMy Home Pageのスコア通知設定（Score Reporting Preference）ページで「オンライン上でのスコア確認及び郵送での通知」を選択しないと発行・送付されません。*
５月２７日（火）	１０：００	留学センターHPにて、出願状況の途中経過を公開します。 出願先プログラムの検討にお役立てください。
６月４日（水） ～ ６月６日（金）	１２：００ ～ １７：００	出願必要書類受付 （早稲田キャンパス２２号館１階 Waseda Global Gate） *注）最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受付けができず、出願ができないことがあります。早めに提出するようにしてください。*
６月１０日（火） ～ ６月２４日（火）	所属事務所より 後日連絡	所属学部・研究科別推薦候補者適性判断（面接等） *内容は各所属学部・研究科によって異なります。面接を実施しない場合、連絡はありません。*
６月２１日（土）	６月１３日（金）に連絡	非英語面接試験 （EX（TSA）、TSAのみに出願する場合は不要）
７月４日（金）	１３:００以降	派遣候補者発表（Waseda-net 個別通知にて）
７月１８日（金）	６限目予定 後日連絡	派遣候補者決定直後オリエンテーション *＊当日は出欠を確認します。授業などで事前に出席できないことがわかっている方は、必ずout-cie@list.waseda.jpまでご連絡ください。*

※上記日程・締切りは厳守してください。締切後の対応はいかなる理由であろうとも受け付けられません。

※２０１４年６月～２０１５年２月にかけて、派遣候補先大学への出願手続きならびに派遣候補先大学での選考が行われます。

※ポートランド州立大学（LOHAS, Waseda Business Program）、中期プログラム（Boston University, University of Washington、Univeristy of West Virginia、University of New Mexico、およびAIMS7）の選考日程は、上記とは異なります。P.14-15 を確認してください。

Waseda-net Portal 個別通知の確認方法



選考結果の発表は、この画面の「○○さんへのお知らせ」で行います。
お知らせの表示期間は、結果発表日から 3 ヵ月間です。その後、自動的に消えます。

*PSU、中期プログラム、およびAIM7の選考日程は異なりますのでP14-15をご確認ください。

4. 選考の流れ

英語で行われるプログラム (EX・EX(TSA)・TSA・ISA)	非英語で行われるプログラム (EX・EX(TSA)・TSA)
↓	↓
留学フェア（５月９日（金）・１０日（土））	
↓	↓
ＷＥＢ出願登録（５月１２日（月）１３：００　～　６月３日（火）００：００） ※６月２日（月）までに登録された申請のみ受付けます。 ５月２７日（火）　１０：００より、留学センターHPにて出願状況の途中経過を公開します。	
↓	↓
出願必要書類提出（６月４日（水）～６月６日（金） 早稲田キャンパス２２号館１階 Waseda Global Gate）	
↓	↓
所属学部・研究科別推薦候補者適性判断（面接等）（６月１０日（火）～６月２４日（火））	
↓	↓
↓	非英語プログラム面接試験 ６月２１日（土） （対象者へは６月１３日（金）面接時間通知）
↓	
↓	↓
書類選考	
↓	↓
↓	↓
学内での派遣候補者WEB発表　Waseda-net Portalの個別通知にて（７月４日（金）１３：００以降）	

5. 出願方法

(1)　WEB出願登録（５月１２日（月）１３：００～６月３日（火）００：００）
※６月２日（月）までに登録された申請のみ受付けます。

Waseda-net ポータル（http:www.wnp.waseda.jp/portal/portal.php）「国際交流・留学」の「派遣留学-WEB出願登録」から出願者本人が、WEB出願登録をしてください（P.17参照）。
具体的入力が必要な下記項目①～⑤を事前に準備しておくと、スムーズな出願登録手続きが行えます。

① 個人情報

✧ ローマ字（半角大文字）　（原則：パスポートと同じ表記、ない場合は通称表記）による氏名、国籍、電話番号、携帯電話、Waseda-net email address、緊急連絡先氏名と電話番号。
※派遣先の大学によっては、日本国籍以外の国籍を所有する学生の留学を認めていない場合があります。二重国籍をお持ちの方は、必ず質問項目に記入してください。

② 志望プログラム

✧ 以下の条件を満たしたうえで、最大で第７志望まで選択することができます。
全てTSA、もしくは全て交換留学を選ぶことも可能です。

✧ 英語プログラムと非英語プログラムを併願する場合には、非英語プログラムの選考を先に行うため、非英語プログラムを英語プログラムよりも上位志望に設定し、英語プログラムをその下位志望とする場合のみ併願が可能です。

✧ あらかじめ志望プログラムを確定したうえで検索画面から選択して、「選択確定」ボタンで確定してください。同一大学で複数のプログラムコードがある場合がありますのでご注意ください。

③ 語学能力証明

✧ 英語によるプログラムに出願の場合は、希望するプログラムの要求スコアを超えるTOEFLのiBT, PBTいずれかのオリジナルスコアカード(Examinee Score Report)。TOEFL-iBTについては、WEB画面で確認できるスコア表のプリントアウトでも受け付けます。ただし、後日そのプリントアウトと同一のオリジナルスコアカードを必ず提出してください。

※TOEFLのExaminee Score Reportは、オンラインでのテスト申込時にMy Home Pageのスコア通知設定（Score Reporting Preference）ページで「オンライン上でのスコア確認及び郵送での通知」を選択しないと発行・送付されません。

✧ TOEFL-ITPで出願可能なプログラムのみを希望する場合には、TOEFL-ITPのスコアカードのみの提出でかまいません。ただし、iBT,PBTいずれかのオリジナルスコアカード(Examinee Score Report)が必要なプログラムも併願している場合には、両方のスコアカードが必要です。TOEFL-ITPのみの提出の場合、iBT,PBT要求プログラムは選考対象外となります。

✧ 非英語によるプログラムに出願する場合は、今回募集対象となる言語種別を選択してください（複数選択も可）。ただし、教員による語学能力証明書など、必要な書類は選択した言語それぞれに必要です。

✧ 非英語によるプログラムに出願の場合は、語学学習状況・学習計画報告に語学学習歴（学習年数○年、学習機関○○、週○時間○コマ、のべ学習時間○時間）と、現在および今後の学習計画、その他語学学習や能力に関しての特記事項があれば記入してください。

✧ 該当言語で行われる授業やプログラムについていけるレベルを有する客観的な証明として、「a)各種語学能力試験等公的試験のスコアやレベル（韓国語能力試験など）」を提出してください。また、その言語を指導してくれた学内教員またはその言語に堪能な「b）教員による語学能力証明」については必ず提出してください(EX(TSA)、TSAへの出願者を除く)。教員による語学能力証明は教員の方に留学センター指定の厳封用封筒で厳封してもらった状態で留学センターに提出してください。

なお、a)各種語学能力試験等公的試験のスコアやレベル（韓国語能力試験など）」については出願するプログラムが指定しているレベルを超えたスコアカードの原本は必須となります。指定のレベルがないプログラムに出願する場合でも、できる限り提出してください。ただし、語学初心者でも応募可能な語学プログラム（Language Program）にのみ出願する場合の提出は不要です。

✧ 応募プログラムが、母国語のプログラムなどの理由で、語学能力証明書を提出できない場合には、その理由を証明書欄に記述して、提出してください。この場合、厳封の必要はありません。

✧ 既に他の留学プログラムにて現在留学中の場合は、理由にその旨を記入し、現在の語学能力を証明できる教員に依頼し、厳封した状態で提出してください。

④ 学習・研究計画書

✧ 和文もしくは英文にて、制限文字数以内で記入してください。和文と英文のいずれでもかまいません。

次の問題に対して、自分自身でよく考え、自らの言葉で記述しなさい（和文・英文ともに、細かな文法的なミス等は、採点の要素とはしないので、必ず自分自身で書き上げること）。

問：留学を希望する理由について、以下の点に触れつつ、１２００～２０００字で記述しなさい。

1. 現在、早稲田大学で学んでいること、これから学びたいこと。
2. 留学を通して得たいこと、今後の人生に活かしたいこと、今後のキャリアプラン
3. 出願しているすべての志望プログラムの志望理由
   *複数プログラムに出願する場合、すべてのプログラムについて言及してください。
4. 自分自身の長所や短所（協調性や異文化への適応力について）

英文の字数制限は、６００～１０００words程度とする。

※ 学習・研究計画書は派遣候補先大学決定後に必要に応じて先方に直接送付される

ことがあります。あらかじめご了解ください。

⑤　登録完了確認、申請内容の確認メールがすぐに送信されます。（５分以内）

申請内容の確認メールの内容に間違いがないかを確認してください（メールの設定によっては、文字化けする場合もありますが、こちらに登録されたデータ上は問題ありませんのでご安心ください）。

※届いていない場合は出願登録が完了していないことになりますので、必ず届いていることを確認してください。

志望プログラムの確認（ WEB 出願内容の確認に関して）
志望プログラムに誤りがないか、十分に確認してください。同一大学でも英語プログラムと非英語プログラム、交換と TSA が実施されている場合があります。WEB 出願締め切り後の変更、修正はできません。

(2) 出願必要書類提出（６月４日（水）～６月６日（金）12：00～17：00）

早稲田キャンパス２２号館１階　Waseda Global Gate（西早稲田・所沢・本庄・北九州キャンパスの学生は所属事務所に提出も可能）

志望するプログラムへの出願に際し必要となる書類を以下の①～⑤の順に揃えて提出してください。提出書類の紙サイズは、可能な限り A4 サイズでご用意ください。なお、一旦提出された書類の返却は行いませんので注意してください。また、提出前に、自分用の控えとしてコピーを忘れずに取ってください。

※学部の１年生は、入学した直後の学期（１学期目または１セメスター時）に出願する場合は、高校の英文成績証明書（原本）を提出する必要がありますので、早めに準備してください。

●全員提出必須：

① 大学派遣留学プログラム誓約書３通（原本１通とコピー２通、両面印刷、裏面も記入）

✧　この要項に添付されているもの、もしくは留学センターの HP からダウンロードした所定の誓約書を使用し、必要事項を記入して提出してください（保証人の方の署名捺印も必要、日付けも忘れずに記入してください）。

✧　両面印刷並びに裏面にも記入することを忘れないでください。
学生本人、保証人の方両方の署名捺印が完了した後にコピーをとり原本とともに提出してください。

外国籍の方で印鑑がない場合は、記名＋署名が必要なので注意してください（保証人欄含む）。

② 英文成績証明書（原本１通）

博士後期課程学生は学士課程・修士課程・博士課程の３種類の証明書を提出してください。

修士課程学生は学士課程および修士課程の２種類の証明書を提出してください。交換留学プログラム応募条件の成績は修士課程以上のものを対象とします。ただし、修士１年生で修士課程の成績が提出できない場合は、学部の成績を対象とします。

学部生は、学部の証明書を提出してください。

※国際教養学部の学生は、提出の必要はありません。１年間の海外留学が必修のため、事務所経由で留学センターに提出されます。

学部の１年生は、入学した直後の学期（1 学期目または１セメスター時）に出願する場合は、高校の英文成績証明書を提出してください。

学部 4 年生で、早稲田大学の大学院に進学が決まっている学生は、大学院合格通知書も提出してください。

自動証明書発行機から入手することができます。
(http://www.waseda.jp/navi/services/opentime-certificates.html)

●英語プログラムへの出願者は提出必須：

③TOEFL オリジナルスコアカード　原本１通

✧ 応募時にTOEFLのスコアカード（Examinee Score Report／２０１２年５月以降受験分）を提出してください（A4サイズのまま提出、切り取らないこと）。

✧ TOEFL-ITPで出願できるいくつかのプログラムを除いては、iBT, PBTいずれかのスコアカード（Examinee Score Report）が必要です。

✧ TOEFL-iBTについては、WEB画面で確認できるスコア表のプリントアウトでも受け付けます。スコアや名前が切れないように気を付けてください。ただし、後日そのプリントアウトと同一のオリジナルスコアカードを必ず提出してください。最終的にオリジナルスコアカードの提出がない場合は、無効となりますのでご注意ください。

※TOEFLのExaminee Score Reportは、オンラインでのテスト申込時にMy Home Pageのスコア通知設定（Score Reporting Preference）ページで「オンライン上でのスコア確認及び郵送での通知」を選択しないと発行・送付されません。

TOEFLスコアの扱いについて

１．各大学の要求スコアについて
　各大学の要求スコアを超えるスコアを取得していることが必要です。

２．有効期限について
　２０１２年５月以降受験分が有効となります。

３．スコアカードは原則として返却いたしません。

４．TOEFLの有効期限は２年間なので、派遣候補大学への出願の際、およびビザ申請に必要となる書類が派遣候補大学より発行される前に有効期限が切れる場合は、再受験が必要な場合もありますので注意してください。

●非英語プログラムへの出願者は提出必須（EX(TSA)、TSA、中期を除く）：

④教員による語学能力証明書　原本１通

✧ 教員による語学能力証明書を提出する場合には、必ず教員に留学センター指定の厳封用封筒で厳封してもらい、未開封の状態で留学センターに提出してください。

✧ 証明書が提出できない人は、理由（例：母国語のため）を記入し、署名したうえで提出してください。

✧ 既に他の留学プログラムにて現在留学中の場合は、理由にその旨を記入し、現在の語学能力を証明できる教員に依頼し、厳封した状態で提出してください。

✧ ただし、EX(TSA)プログラム、TSAプログラム、中期プログラムにのみ出願する場合は提出不要です。

●非英語プログラムへの出願者は提出してください：

⑤語学能力試験のスコア原本１通

✧ 客観的な語学能力証明として、出願先大学がレベルを指定している場合は提出必須、指定がない場合でもできる限り「各種語学能力試験等公的試験等のスコアやレベルの試験結果」（韓国語能力試験など）を提出してください。

※④と⑤両方を提出してもかまいません。

※プログラムによっては各種語学能力証明書（原本）の提出が求められているプログラムもあります。それらのプログラムに応募する場合は、学内選考後現地に出願する際、要求レベルを超えたスコアカードの原本を提出できることが出願条件になります。

6. ポートランド州立大学（TSA）プログラム、中期留学プログラム　応募方法について- 学部生対象 -

ポートランド州立大学 TSA プログラム（LOHAS, Business Program）および中期留学プログラム（Boston University, University of Washington (Seattle)、West Virginia University、University of New Mexico）については、今年度の秋学期開始のプログラムのため、それに先行して４月１８日（金）１３：００より募集を開始します。以下、プログラムの概要と応募方法についてご説明します。

【プログラム】
- ○ Portland State University “LOHAS” (TSA)
- ○ Portland State University “PSU/Waseda Business Program” (TSA)
- ○ Boston University (Fee based one-semester program)
- ○ West Virginia University (Fee based one-semester program)
- ○ University of New Mexico (Fee based one-semester program)
  ※University of New Mexico には“CELAC”、“2×2 Bridge”、および“Regular Course”の 3 種類のプログラムがあります。
- ○ University of Washington (Seattle) (Fee based one-semester program)
  ※University of Washington (Seattle)には “Cascade”と“Olympic”の 2 種類のプログラムがあります。

【プログラム期間】
- ○ LOHAS：２０１４年９月下旬～２０１５年６月上旬
- ○ PSU/Waseda Business Program：２０１４年９月下旬～２０１５年６月上旬
- ○ Boston University：２０１４年９月上旬～２０１４年１２月中旬
- ○ West Virginia U’niversity：２０１４年８月中旬～２０１４年１２月中旬
- ○ University of New Mexico：２０１４年８月中旬～２０１４年１２月中旬
- ○ University of Washington (Seattle)：２０１４年９月中旬～２０１５年３月下旬

【対象学生】
すべての学部の正規学生（学部生対象）
＊国際教養学部の２０１４年４月入学生は、学部の規定により応募できません。

【応募方法】
その他の２０１５年度春募集とは、別の日程、方法で行います（併願はできません）。各プログラム単願で出願する学生のみ受け付けます。

【出願手順】

日程	内容
２０１４年4月１８日(金) １３：００ ～ 5月１５日（木）００：００締切 ※５月１４日(水)までに登録された申請のみ受付けます。	WEB出願登録(Waseda-net ポータルにて) *注)* ・最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受付けができず、出願ができないことがあります。早めに希望校を検討して登録するようにしてください。 ・Waseda-net ポータル (http:www.wnp.waseda.jp/portal/portal.php) 「国際交流・留学」の「派遣留学-WEB出願登録」から出願者本人が、WEB出願登録をしてください。 申請フォーム名：PSU・中期プログラム出願登録
２０１４年5月１５日（木）、１６日（金）　１２:００ ～ １７:００	出願必要書類受付 （早稲田キャンパス２２号館１階 Waseda Global Gate） ＊西早稲田・所沢キャンパスの学生は、所属学部事務所への提出も可とします。 提出書類 a) 大学派遣留学プログラム誓約書３通 （原本１通とコピー２通、両面印刷、裏面も記入） b) TOEFL オリジナルスコアカード（Examinee Score Report） ＊University of New Mexico の“2×2 Bridge”と“Regular Course”、および University of Washington (Seattle)に出願する場合は、出願時点で要求スコア以上のスコアカードの提出が必要です。それ以外のプログラムに出願する場合は、出願時にはスコアカードがなくてもかまいませんが、手続上７月中旬には要求スコア以上のスコアカードを提出いただきます。
５月２１日（水）１３：００以降	派遣候補者発表（Waseda-net 個別通知にて）

【奨学金】
Boston University (Fee-based one semester program)の学生については奨学金が支給される場合があります。詳細は後日、派遣候補者が決まった後に対象者にご連絡します。

7. AIMS7　多言語・多文化共生プログラム　応募方法について- 学部生対象 -

東南アジア地域と日本の関係は深くなっており、ASEAN が抱える多言語・多文化共生社会を視野に入れた人材育成を目的として、早稲田大学では「AIMS7 多言語・多文化共生プログラム」を 2014 年度より開始します。ポートランド州立大学 TSA プログラム（LOHAS, Business Program）および中期留学プログラム同様、今年度の秋学期開始のプログラムのため、それに先行して４月１８日（金）１３：００より募集を開始します。以下、プログラムの概要と応募方法についてご説明します。

【派遣先大学・留学期間】
- ○ マラヤ大学　（２０１４年９月～２０１５年２月）
- ○ インドネシア大学（２０１４年９月～２０１５年１月）
- ○ チュラ―ロンコーン大学（２０１４年８月～２０１４年１２月）
- ○ タマサート大学（２０１４年８月～２０１４年１２月）
- ○ デ・ラ・サール大学（２０１４年９月～２０１４年１２月）
- ○ ブルネイ・ダルサラーム大学（２０１４年８月～２０１４年１２月）

【対象学生】
- ○ すべての学部の正規学生（学部生対象）
- ○ ２０１４年秋学期に留学先が「決定していない」こと。
- ○ 原則として、出発時に３セメスター以上を早稲田大学で履修していること。

【応募方法】
「AIMS7 多言語・多文化共生プログラム」はその他のプログラムとの併願はできません。「AIMS7 多言語・多文化共生プログラム」に単願で出願する学生のみ受付けます（派遣先大学については最大で第３希望まで出願できます）。

【出願手順】

日程	内容
２０１４年4月１８日(金) １３：００ ～ 5月１５日（木）００：００まで ※５月１４日(水)までに登録された申請のみ受付けます。	WEB出願登録(Waseda-net ポータルにて) ・最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受付けができず、出願ができないことがあります。早めに希望校を検討して登録するようにしてください。 ・Waseda-net ポータル(http:www.wnp.waseda.jp/portal/portal.php) 「国際交流・留学」の「派遣留学-WEB出願登録」から出願者本人が、WEB出願登録をしてください。 申請フォーム名：AIMS7多言語・多文化共生プログラム出願登録
２０１４年５月１５日（木）、１６日（金）　１２:００ ～ １７:００	出願必要書類受付 （早稲田キャンパス２２号館１階 Waseda Global Gate） ＊西早稲田・所沢キャンパスの学生は、所属学部事務所への提出も可とします。 提出書類 a) 大学派遣留学プログラム誓約書３通 （原本１通とコピー２通、両面印刷、裏面も記入） b) TOEFL オリジナルスコアカード（Examinee Score Report） ＊要求スコア以上のスコアカードを提出いただきます。
５月１７日（土）	面接試験 ＊詳細は対象者に個別にメールでご連絡します。
５月３０日（金）１３：００以降	派遣候補者発表（Waseda-net 個別通知にて）

【留学支援・奨学金】
日本から派遣先国までの渡航費用（往復航空運賃）、および留学先での寮費が給付されます。また、要件を満たす学生には、さらに奨学金（日本学生支援機構あるいは早稲田大学の奨学金）が給付されます。

【お問合せ先】
早稲田大学国際教養学部事務所　AIMS オフィス
TEL: 03-3208-0570
MAIL: aims-office@list.waseda.jp
URL: http://www.waseda.jp/sils/jp/aims

8.派遣留学奨学金

１．WSC メンバーズ基金グローバル人材育成奨学金

「ＷＡＳＥＤＡサポーターズ倶楽部（ＷＳＣ）」は、「教育環境整備」、「グローバルリーダー育成支援」、「スポーツ支援」及び「奨学金」等学生支援を始めとした、本学の教育・研究活動に伴う各種事業へ財政的に支援することを目的とした寄付倶楽部です。

２００９年４月に発足して以来、多くの校友・父母・篤志家の皆様方からの支援による累計寄付金額は約３０億円を超え、（2013 年１２月末現在）そのうちの１５億円をもとに「WSC メンバーズ基金」を創設し、その果実を各種学生支援および教育研究活動に活用させていただいています。その一環として、2014 年度より、「WSC メンバーズ基金グローバル人材育成奨学金」が新設されました。留学センターが設置する派遣留学プログラム（ダブルディグリープログラムおよび１年間程度の交換留学）によって、海外の大学に派遣される本学学部正規学生の中で、特に成績優秀な者が給付対象者となります。

奨学金：年額 100 万円
採用者数：10 名

２．海外留学支援制度（短期派遣）

文部科学省の外郭団体である（独）日本学生支援機構の奨学金です。
対象：早稲田大学の派遣留学プログラムで留学する学部・大学院学生
（「留学」の在留資格で滞在する外国人留学生を除く）
奨学金： 月額 6～10 万円（給付）※地域によって異なる
支給期間：12 ヶ月以内
採用者数：未定

詳細は、7 月 18 日（金）の派遣候補者決定直後オリエンテーションにおいて、説明いたします。

３．早稲田大学学生交流奨学金

対象：早稲田大学の派遣留学プログラムによって留学する学部・大学院学生
奨学金： 年額 25 万円（給付）
採用者数：150 名（2014 年度予定人数）

詳細は、7 月 18 日（金）の派遣候補者決定直後オリエンテーションにおいて、説明いたします。

４．派遣先大学から支給される交換留学奨学金

2001 年度に本学が設立した「交換留学生奨学金制度」は、協定交換で相互に食費、住居費相当額を目安とした奨学金を提供することにより、交流を促進することを目的としています。これにより、本学からの該当校への交換留学生（原則 1 名）には奨学金が給付されます。なお、先方の都合により、支給金額に変更が生じる場合もあります。また、本奨学金を含め、留学に関する奨学金の併給はできません（一部例外あり）。対象校についての最新情報は留学センターWEB ページまたは“留学の手引き”をご参照ください。

9.プログラム選択時の海外での安全情報の確認

「2014-2015 STUDY ABROAD 留学の手引き」　日本語版 P29 記載のとおり、留学先地域の検討に際しては、自分自身で地域の安全情報を確認するとともに、現在の国際情勢では、渡航、滞在中も常に注意が必要であることに留意してください。外務省では、海外安全ホームページ http://www.anzen.mofa.go.jp/で、地域別国一覧から、その国の最新の海外危険情報、過去の情報データベース、多発している事件の傾向と対策など、きめ細かな渡航情報を提供しています。

「危険情報」が出されている地域もありますので、当該地域を留学先として検討している場合には、自己責任がとれる範囲内で学習や研究上の必要性を勘案した上で出願してください。

10. お問合せ先

早稲田大学留学センター　（早稲田キャンパス２２号館１階）
〒169-0051　新宿区西早稲田 1-7-14-1F　Waseda Global Gate
E-mail: out-cie@list.waseda.jp
開室時間: 平日の９：００～１７：００（土、日、祝日は閉室）

11. 出願登録　Waseda-net Portal 画面見本

WEB 出願登録は、こちらから

Waseda-net ポータル　画面

派遣留学出願登録は、この WEB 登録のほかに、出願必要書類提出が必要です。提出期間は、6 月 4 日（水）～6 月 6 日（金）です。
*ただし、PSU、中期プログラム、AIMS7 の日程は異なりますので P14-15 をご覧ください。

選考結果の発表もこの画面の「○○さんへのお知らせ」で行います。メール通知ではありませんのでご注意ください。

出願時のチェックリスト

*ただし、PSU、中プロ、AIMS7 の出願日程は P14-P15 を参照すること。

WEB 出願登録（5 月 12 日（月）13:00 ～ 6 月 3 日（火）00:00 締切）　＊時間厳守！

※6 月 2 日（月）までに登録された申請のみ受付けます。

□ 募集要項を見たら志望大学の選択を開始し、一度は登録画面を見てみましょう。
□ Waseda-net ポータル画面にて、5 月 23 日（金）を目処に一度は WEB 出願を試してください。「登録」は何度でも可能です。
□ プログラムリストを含め、出願前に最新情報を留学センターの HP で再確認しましたか？
□ 最新の「登録」に対する「登録内容確認のメール」の内容に間違いがないかをよく確認してください。

出願必要書類受付：6 月 4 日（水）～ 6 月 6 日（金）12:00-17:00　＊時間厳守！
提出場所：早稲田キャンパス 22 号館 1 階　Waseda Global Gate

全員提出必須：

□ ①大学派遣留学プログラム誓約書 3 通（原本 1 通、コピー2 通、両面印刷）
*裏面の志望プログラムのページ含む、印鑑忘れ、署名、日付の記入に注意。

□ ②英文成績証明書 1 通
*留学がカリキュラムの一環である国際教養学部の学生は提出の必要はありません。
*学部の 1 年生は、入学した直後の学期（1 学期目または 1 セメスター時）に出願する場合は、高校の英文成績証明書を提出してください。

英語プログラムへの出願者は提出必須：

□ ③TOEFL iBT, PBT, CBT, のオリジナルスコアカード（Examinee Score Report）
*iBT はインターネット上で閲覧できるスコアのプリントアウトでもかまいませんが、後日必ず同一のオリジナルスコアカードを提出してください（プリントの際、名前やスコアが切れないように注意）。
*TOEFL-ITP でも出願可能なプログラムのみに出願する場合は、TOEFL-ITP のみの提出でよいですが、iBT, CBT, PBT いずれかが必要なプログラムと併願の場合には、両方のスコアカードが必要です。
*TOEFL の Examinee Score Report は、オンラインでのテスト申込時に My Home Page のスコア通知設定（Score Reporting Preference）ページで「オンライン上でのスコア確認及び郵送での通知」を選択しないと発行・送付されません。

非英語プログラムへの出願者は提出必須（EX(TSA)、TSA、中期を除く）：

□ ④ 教員による語学能力証明書　原本 1 通
*教員による語学能力証明書を提出する場合には、必ず教員に留学センター指定の厳封用封筒で厳封してもらい、未開封の状態で留学センターに提出してください。
*証明書が提出できない人は、理由（例：母国語のため）を記入し、署名したうえで提出してください。
*既に他の留学プログラムにて現在留学中の場合は、理由にその旨を記入し、現在の語学能力を証明できる教員に依頼し、厳封した状態で提出してください。
*ただし、EX(TSA)プログラム、TSA プログラム、中期プログラムにのみ出願する場合は提出不要です。

非英語プログラムへの出願者は提出してください

□⑤語学能力試験のスコア原本 1 通
*客観的な語学能力証明として、客観的な語学能力証明として、出願先大学がレベルを指定している場合は提出必須、指定がない場合でもできる限り「各種語学能力試験等公的試験等のスコアやレベルの試験結果」（韓国語能力試験など）を提出してください。

①～⑤のうち、自分の志望するプログラムに提出する必要のある書類を、なるべく A4 サイズに統一し、①～⑤の順にそろえて提出してください。